



写真と書道の未来へ 「美しいあきた」

フォトコンテスト 作品募集中

応募期間/9月1日(金)~10月15日(日)



テーマ/「美しいあきた」

秋田県内で撮影した四季折々の風景、祭り、食べ物、人物など、秋田の美しさが伝わる写真を幅広く募集します。

応募条件/

Instagramの公開設定になったアカウントを持ち、公式アカウント@miraiten_akitaをフォローしている方。応募写真は秋田県内でご自身が撮影した作品に限ります。

応募方法/

- ①応募用ハッシュタグ#美しいあきた2023を付けて写真を投稿してください。投稿の際には必ず撮影場所、PRポイントをコメントに簡潔に書いてください。
- ②メール(miraiten_akita@liveyell-akita.jp)でも応募を受け付けます。JPEG形式、画像サイズ1200万画素以上、5MB以内のデータを添付し、撮影場所とPRポイントを簡潔に書いて送信してください。

選考方法/ 10月下旬に主催者と県内で活躍する専門家による厳正な審査を行います。

審査員/ (敬称略)



草薙 裕

秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻助教。専門は写真。APA公募展文部科学大臣奨励賞、キヤノン写真新世紀佳作(蛸川実花選)、キヤノンSHINES入選(梶川由紀選)。著書に写真集「SNOW」(FOIL出版)、「PEBBLES」(キヤノンSHINES出版)、「水を伝う玉川毒水」(クレヴィス出版)など。



長沢 薫

秋田を軸に活躍する書家。高校教員として勤務。筑波大学大学院芸術研究科美術専攻書分野修了。古典修練を重視し、個展も多数開催。題字揮毫などの他、若い世代への普及にも尽力。県書道連盟常任理事、県立近代美術館協議会委員など歴任。秋田書道展無鑑査。



工藤 知早(茶々)

秋田で活躍する若手写真家。主にフード写真を得意としており、写真教室講師を務めるほか、多くの個人・企業依頼の撮影も手掛ける。「茶々(chacha)」の名で写真雑誌「GENIC」などへの掲載多数。SNSフォロワー数は5万人超。[Instagram/Twitter]@kissa_chachaya

結果発表/

審査終了後、入賞者にはInstagramメッセージかメールにて連絡いたします。その後、指定のメールアドレスに写真データ(JPEG形式、画像サイズ1200万画素以上、5MB以内)を添付し、氏名、住所、電話番号を明記して送ってください。

作品展示と表彰/

入賞作品(約50点)は下記『「写」と「書」の未来展』で展示します。展示用に主催者にて出力した作品は終了後、応募者に郵送、贈呈します。会場には県内高校書道部員が各作品からインスピレーションを得て制作した【書】も並べます。優秀賞については「未来展」初日に会場で表彰、書道パフォーマンスも行います。

※展示の際はアカウント名のみを公開し、氏名は表示いたしません。 ※個人情報は主催者にて出力した写真作品の発送にのみ使用します。 ※受賞連絡に対して指定の期日までに返信がない場合、受賞は無効となります。 ※応募された写真は、公式アカウントでリポストしたり秋田魁新報の紙面やSNS等で紹介する場合があります。応募された時点で紙面掲載等に同意が得られているものとみなします。 ・未成年者は保護者の同意が必要です。未成年者の応募は、保護者の同意が得られているものとみなします。 ・人物が写り込んでいる写真は、必ず本人の同意を得てください。応募された時点で、同意が得られているものとみなします。 ・肖像権や著作権など被写体の権利侵害があった場合、主催者は一切責任を負いません。 ・応募は未発表の作品に限ります。(個人のSNSに掲載された作品の応募は可)。

お問い合わせ 秋田魁新報社 TEL.018-888-1859 (平日9:00~17:00)



前回の様子

Instagramからの応募はこちら!



『「写」と「書」の未来展』

2023年12月16日(土)~21日(木)

会場/さきがけホール
秋田市山王臨海町1-1 秋田魁新報社 1F

※イベントのスケジュール、内容は予告なく変更・中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください



助成:文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)|独立行政法人日本芸術文化振興会
事業名:JAPAN LIVE YELL project

主催/『ジャパン・ライブエール・プロジェクトinあきた』実行委員会、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会